

議会運営委員会

佐野 和彦 委員長コメント

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症に振り回された1年でありましたが、富士宮市議会においても感染対策をはじめ、それに対応した議会運営を行い、幸いにも感染者を出さずに終わることができました。

また、課題でもあった、富士宮市議会BCP（事業継続計画）も1月から運用開始となり、議会が機能する仕組みができました。

2月定例会は令和3年度予算を決める重要な議会でありましたが、補正予算を含め新型コロナウイルス感染症ワクチン対応が素早くできるよう予算に反映されており、今後の安心材料が増えたのではないかと思います。

その他、議会提出議案の再エネ導入推進条例の提出や、書類の押印から記名への変更など、時代に合わせた委員会条例の改正などを行いました。2月定例会の議決案件が市民の笑顔のためになることを祈ります。

総務文教委員会

議案の審査

●陳情第1号：日本政府が速やかに「核兵器禁止条約」に署名・批准することを求める意見書提出についての陳情書

所管事務調査

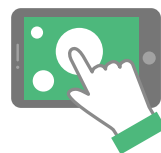
●市内小中学校におけるGIGAスクール構想の進捗状況について

松永 孝男 委員長コメント

陳情第1号では、陳情者の趣旨説明を聞いた後、多くの委員から戦争の悲惨さと核兵器の酷さを後世に伝え、核兵器廃絶を訴え続けることは唯一の戦争被爆国としての義務であるなどの意見があり、全会一致で採択すべきものと決定しました。

その後3月17日の本会議でも全会一致で採択され、意見書の提出が決まりました。改めて核兵器廃絶について議論する機会を与えていただきました陳情者の皆様に感謝いたします。

また、市内小中学校におけるGIGAスクール構想の進捗状況は、令和2年度中に全児童生徒に対するパソコンの配備が完了し、令和3年度から実際に授業等での活用が始まります。急速に進むICT技術への積極的な参画意欲の醸成と同時に、人としての優しさも併せて育てていく指導を期待しています。



環境厚生委員会

所管事務調査

- 富士宮市立病院の事業報告について
- 富士宮市一般廃棄物処理基本計画について（連合審査会）

中村 憲一 委員長コメント

半期ごとの市立病院の事業報告については、コロナ禍においても医師派遣要請のため浜松医科大学等を訪問し、成果として令和3年度から循環器内科、外科、産婦人科、麻酔科の医師が増員となり、診療体制は回復傾向にあります。また病院長から、今後は呼吸器内科に力を入れるとのこともありました。感染症対応については、入院患者全員に入院前PCR検査を実施し、自前のPCR検査機器も導入して安全安心を確保しています。今後はワクチン接種にも対応していく予定とのことでした。

一般廃棄物処理基本計画については、産業都市委員会と連合審査会を開催し調査を行いました。現行計画が令和3年度で終了し、令和4年度から10年間実施する計画の策定が求められています。脱炭素社会、ゼロカーボンシティの実現のためにも、廃棄物の発生抑制や資源化だけでなく、再生可能エネルギー源としての活用も視野に入れる必要があります。

産業都市委員会

議案の審査

- 議第8号：富士宮市経済変動対策貸付資金利子補給基金条例制定について
- 議第9号：富士宮市地域創生基金条例制定について

植松 健一 委員長コメント

2件の条例制定について審査を行いました。

1件目の「富士宮市経済変動対策貸付資金利子補給基金条例制定について」は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、市内中小企業が県の経済変動対策貸付資金によって資金調達をした場合に、利子補給金を交付し、3年間は実質無金利で借入れができるようにするもので、その財源として地方創生臨時交付金を充てるため基金を創設するものです。

2件目の「富士宮市地域創生基金条例制定について」は信金中央金庫からの企業版ふるさと納税の寄附金を市の行う「ビジネスコネクつじのみや事業」の財源とするため、基金を創設するものです。この事業は、市、芝川商工会、富士宮商工会議所、富士宮信用金庫が協定を締結し、企業の知的財産、新規事業、事業課題解決を支援・補助するものであります。

審査の結果、いずれの条例についても可決すべきものと決定しました。